

# 東北日日新聞

本誌創刊三十周年 昭和四年三月一日 創刊日 昭和四年三月一日 創刊日 昭和四年三月一日

## 社説

平町長問題が伏見氏再選の結果その非擁立派と、擁立派とが互に反目暗闘をつづけてゐるが、二十七日の決算委員会に於て爆發した、大森氏が伏見町長の機密費途についてそれとなく皮肉を飛ばした結果、萩原氏が前日大森氏が某校長に決算委員会にて伏見氏を救さずと洩したるを思い、委員

### 大森町議の問責云々

#### 平町豫算委員会の亂闘劇

#### 大森 萩原兩町議間に激論交され

平町長問題から青沼派伏見派に大きな溝が生じ事毎に反目して來た結果二十八日の本會議は相當混亂に陥るものと見られて居た結果、於て青沼派の大森町議と伏見派の萩原町議間に激論が交され椅子は

#### 飛び茶碗は飛ぶ

茶碗は飛ぶの一幕と云ふが、いづれにしても、物があるれば委員会は流會が原因となり中立、或は政となつた、事の起りは去る友方面に相當の醜態が生ずると二十六日大森氏が平の某小學校長に對し伏見氏を委員就ては非常に注目されてる

#### 大森君の言は

右に就て當の萩原氏は語る、大森君が委員会の席上に於て伏見町長に對し、二年度の交際費が五百圓を突破してゐるがどう云ふ

萩原君は語る、譯か、五百圓を突破してゐる事は良いと思ふか、悪いと思ふかと町長に喰つてかゝつた様だ、それ

### 喧嘩

#### 藤原炭礦で

石城郡磐崎村藤原炭礦で夫朝鮮人白樂文(二七)は去る二十七日午後一時頃坑内に於て作業中坑木のから同友の羽田一郎(五七)と口論をなした結果、羽田に全治二箇月の重傷を負せられたので二十八日平署に告訴

### 郡内各町村の豫算は減じた

#### 二三町村を除く外

石城郡各町村豫算町村會は何れも二十八日を以て終了したが、この町村とも緊縮方針によつて豫算が編成され、目新しい新事業は計上され、おろさない即ち四倉町は約七萬圓湯本九萬圓小名濱八萬圓といふ状態で前年度豫算に比し最低二三萬圓から千四百圓の減を見せてゐる

### 大馬鹿者

#### 江名町の騒ぎ

石城郡江名町字崎湯屋河千四百圓の減を見せてゐることは財界不況の結果を現したるものか窺はれてゐる

### 昨夜平驛前

#### 人殺し騒ぎ

被害者は馬場林鳥、二十七日後八時半頃平驛七寸余の短刀で腹部に頻死前カフニエスタジに於て東の重傷を負はせた、急報に

### ツ太い馬喰

湯本町字上町居住馬喰竹田賢(三八)は去月中小川村の廣田榮太郎(四〇)から青カゲ牡馬一頭價格八十圓を交換するからと稱して連出し

### 磐中校に専用プール

#### 今夏から使用する爲

三月中に起工、磐城中学校では御大典記念事業として水泳プールを設け、置すべく過般來より之が協賛中であつたが此の程に至り、愈々總工費五千圓を投じて同校庭内に建設する事となり三月中旬頃より着工するが費用は大半年生徒或は卒業生よりの寄附によると

### 四倉前組頭批難さる

#### 會計事務で

昨秋秋辭職した四倉町消防組頭戸田雄章氏の後任として過般門馬倉次郎氏が任命されたので戸田前組頭は門馬新組頭に事務の引継をなした處が何是か會計事務のみを引継がぬので組の幹事は戸田氏の處置を非常に憤慨してゐるので或ひは問題をひき起すものではないかと、噂されてゐるが會計事務引継の裏面には深い事情があるものとされてゐる

### 西村薬局

平町二丁目 電話二番

### 筆洗ふ前に

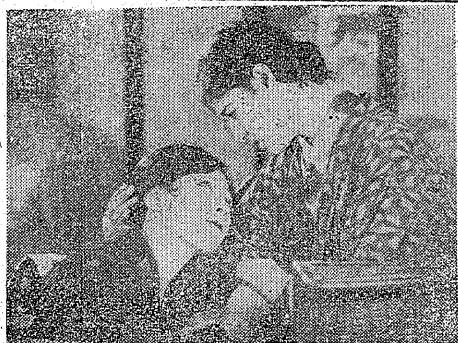
空は若々しく晴れてゐる。春はこつそり、ついそへらまて忍んで來た。小島の田舎路を歩いてゐた。田舎の垣根、小川のはらり、らさびしい畑、そこにも、こゝにも春は來たよきよきやいふふさみれば、赤、黄、緑の色とりどりの備衣の一群とすれちがった。その後から二人づれの備衣が聲高くと話し合つて一歩遅れる「そんな話があるもんか、尻で「そんな話」は二人のうしろ影が小川の流れにそふて行く……何處の備であらう、末世未法の備であらうとも、あのペランメイ式の傳法はだ……佛前に還經する人か……その影を見送つた

たまたま今日に至るも約束を履行しないので榮太郎は二十八日竹田を平署に告訴した

林説 色洞講 (11)

炊 骨 庵

三味線の起源を述べたついでに浄瑠璃の事を書いて見る、之れも通説であるが浄瑠璃十二段物語りには天正年間、美濃國北方の莊を領して織田信長の臣であつた小野正秀の娘小野お通の作と云はれてゐる、お通は幼少の頃信長の傍、育てられた關係から歌や文章は九條種道に學び、禮儀作法、諸藝事何一つ出来ないものない程習ひ、豊臣秀吉の臣塩川某に嫁ぎ一女をあげたが別れ其の後徳川家康に召されて駿府に今で云ふ先生となつて良家の子女にいろ／＼な事を教へてゐたので、芝の増上寺



にある家康七十二才の肖像はお通が將軍秀忠の命を受けてかいたものと傳ひられてゐる、坂崎出羽守で有名な秀忠將軍の息女千姫が豊臣秀頼に嫁す際にはその御付人として派遣され淀君の命を受けて浄瑠璃物語りを書きあげたものだと云ふ、此のお通は眞田伊豆守とも親しくしてゐた、寛永八年に六十四才の高齡で死んだ後は娘が第二代目のお通と名乗つて江戸に來て浄瑠璃と呼ばれたとの事だが、浄瑠璃發展史の第一頁にこの小野お通の名し之れが果して間違つてゐないかどうかは保証の限りでなく唯通説を述べた迄である

砂に陽が落ちる

◇◇映画代現活日◇◇  
原監督 瀧杉  
脚作者 山花  
主役 久左 昌  
嘉藤 藤 久  
次藤 藤 久  
郎茂 藤 久

カフエー。アラビヤはアラビヤの唄と共に賑はつてゐた。酒場の女王、花房蘭子を慕ふ二人一好色漢の出口と水澤の青年がある。出口と水澤と蘭子ととの妹、志津子を取巻いて戀愛關係……。妹思ひの蘭子は或る夜、志津子に迫る出口を射殺して逃れた。事件は渦巻いてゆく……

イスミテーブルの御用命は本箱とツクエ丸ほん  
三丁目・電三五九  
月見町工場・電七二三

診察無料  
如何なる重患でも直ちに癒る三丁目の大谷へ御出下さい 院長博士敬白  
大谷時計病院  
電話一九番

新人の意氣全篇に漲る熱き力の大雄篇  
プロگرام  
主演 阪東壽之助 千早晶子  
大江戸の最後  
松竹下加茂作……監督……星哲夫  
権勢謳ひし徳川三百年榮華の夢果敢なく破れて立つ若くして熱血に燃ゆる彰義隊の悲壯なる血涙史  
日活現代派超特作 原作……森岩雄 監督……阿部豊  
夏川静江 入江たか子 外女優總出演  
競艶女 さよふく 全十巻  
都内の列車内に花嫁を求めに都へ急ぐ大川虎介にめぐる競艶の渦……  
日活時代連続映画  
主演 澤田清 常磐操子 櫻井京子  
落花劍光録 第一篇  
時は天保の頃徳川十二將軍御代ヨ婦あり美女あり怪盗あり劍士あり狂及解るゝものを断つて去る斬奸の主は……?  
廿八日より上映土日曜學生デー  
料金普通  
日活 平 館

東京市尾張町二丁目  
國光生命保險相互會社  
社長 伯爵 中川久任  
専務取締役 岩間六郎  
取締役 秦 豊助  
全 佐竹三吾  
全 渡部 修  
常任監査役 柳田清兵衛  
監査役 小坂順造  
平町白銀町  
代理店 石島商會  
電話 六五〇番  
振替三四〇五八番

食パン 一斤 十六錢  
ミツワ  
アマンド  
クリーム  
ウヅマキ  
一ツ五錢  
四丁目・電二二四  
マツモトヤ

祝創刊  
織田齒科醫院  
平南町  
電四一六

燃料界の親玉徳用煉炭  
良品は多言を要せず  
無煙無臭で火力強く  
火持のよい事素敵なり。  
一個の卸注文でも直ちに配達致します  
磐城殖産合同株式會社  
練炭部  
平町南町五〇 電話四六番

外科一般 (入院隨意)  
内臓外科専門  
花柳病科  
平町六丁目(橋際)  
木村科外醫院  
電話三〇九番

俺が服見よ、自慢ぢやないが買はぬ者ない、正札堂  
物は試しよ、正札堂へ来てよ見さんせ、服買ひにアラ服買ひに  
薄利多賣は此の店の主義  
不景氣泣かせの、福の神  
アラ福の神  
正札堂  
平・四丁目停車場通り

印刷物一般の御注文は安く良く速く  
本社印刷部に御用命を願います  
東北日日新聞印刷部  
主任丸山隆市  
平・白銀町一〇(電話七五七番)